

立憲主義を回復させる大事な年。団結と共同の力で前進を！ メーデー上越集会、日本共産党を代表して橋本正幸新市議が挨拶



第87回メーデー上越集会が1日午後から高田の雁木通りプラザで行われました。参加者は約1000人、参院選新潟選挙区で野党統一候補が決まったことや上越市議選で日本共産党が4議席に伸びたことなどから、みなさんの表情が明るく感じられました。

集会では冒頭、上越地区労連の布施辰夫議長が挨拶、「アメリカでは最低賃金を15ドルにする労働運動が活発化し、英国やフランスでも同様の運動が行われている。韓国では昨年日本で行われた労働者派遣法改悪と似た感じの動きが出ていて、派遣労働者の受け入れ期間を2年から4年に引き延ばししようとする動きがある」と世界の動きを紹介しました。また先月

24日に行われた上越市議会選挙では戦争法廃止を主張する議員が増えたし、新潟県でも野党統一候補が実現した、と報告しました。

来賓の挨拶では日本共産党を代表して橋本正幸新市議が挨拶、「市議なりたての橋本です」と一言述べただけで拍手が起きました。橋本市議は、「今年、安倍法制Ⅱ戦争法の廃止、立憲主義回復を求める大闘争のなかで開催されている。労組、市民団体などさまざまな層の新しい運動が広がり合流し、団結と共同の力を実感しながら、運動を進展させていることは重要だ。メーデーを、要求実現、安倍政権ノーのあらゆる課題を持ち寄る総決起の日とし、国民的共同をさらに広げ、安倍政権打



カエルたちの鳴き声、山菜を採る時の音の響き、廊下を走っていき子ども、田んぼで、ぼちゃんとお水の中に座つ

「風の波紋」を鑑賞

高田世界館で上映中（21日まで）の小林茂監督のドキュメンタリー映画、「風の波紋」を観てきました。期待していた通り、すばらしい映画でした。

雪原を走り抜けるウサギの姿、

倒、新しい政治、新しい政府への一大跳躍台にしよう」と訴えました。森ゆうこ参院新潟選挙区候補からもメッセージが届きました。集会後は、高田の街中を元気よくパレードしました。

てしまった子どもの姿、酔っ払っても尺八に合わせて語るどこかのおとつちゃんの姿など感動の場面がいくつもありません。この目にしつかりと残りました。ピアノの音と場面展開が見事に合致してましたね。遠くから眺める棚田での人間とヤギの動きの早送り映像も新鮮でした。

小林茂監督は以前、人口減少が進み、集落の維持が急速にできなくなってきたというなかで、この映画でどうしたらいいかの答えを出しているわけではないとおっしゃいましたが、私には答えが見えた気がしました。これまでの暮らしの中にある「豊かさの再発見」が大事だと思うのです。こうした豊かさを大事にし、新たな共同の形をつくっていくことに努力しなければならぬと思つた次第です。

【お詫びと訂正】前号の市議選報道中、山田忠晴市議のところ、空欄とすべき前回票と増減欄に数字を書き入れてしまいました。山田市議は前回出馬されていません。お詫びして訂正いたします。また、間違いを指摘する電話をくださった方から御礼申し上げます。なお、按分票は四捨五入して記載しました。



【イチリンソウ】キンポウゲ科の多年草。漢字で「一輪草」と書きます。先日、浦川原区内で街宣をしていて、道にこぼれ咲いているこの花を見つけました。ニリンソウと比べて、花は少し大きいです。

はしづめ法一の活動レポート

No.1755 2016.5.8
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら


春よ来い

第四〇三回

中立山へ

ドキュメンタリー映画、「風の波紋」を観たとき、「ああ、この集落へ行ってみたい」と思いました。いったん、そう思ったらじっとしていられないのが私の性分です。翌日、市役所などで会議を終わらせた私はロケ地、中立山へと車を走らせていました。ロケ地というのは、撮影場所のこと。この映画は十日町市、上越市などが舞台で、中立山はその中心でした。あらかじめ地図で確認したら、大島区菖蒲から行けばそんなに遠くはありません。わが家から車で約一時間ほどで行くことができると思いました。

菖蒲東を過ぎ、国道405号線が下りにかかる景色はがらりと変わった気がしました。朴の木の芽は出始めたばかり、ヤマザクラが咲いていて、カタクリの花も見えます。私が住んでいる所に比べると少なくとも二〇日は春の進み具合が遅かったですね。台門橋を渡って坂道を上がると、そこが十日町市中立山集落でした。すぐ目に飛び込んできたのはスイセンの花です。集落のあちこちに咲いていました。主人公と言ったらいいのか、映画では最も多く登場していた木暮さんの家の近くに車を止め、田んぼや神社などの周辺を歩きました。

ゆっくり歩いていて、「いいなあ」と思ったのは風景です。映画に登場した家屋が見えたときは、「おお、ここだ」とうれしくなりました。映画を思い浮かべながら、カヤぶきの家の屋根、下見板、田んぼ、屏風のような形をした山などを眺めました。

集落内には人の姿はありませんでしたが、三匹のヤギさんがいました。このうち一番大きいヤギさんが「誰が来たのか」といった顔をして、柵に足をかけて私を見つめていたのは驚きました。私がよそ者であることを察知し、警戒したのでしよう。映画では一軒一軒の家がかなり離れているように見えたのですが、実際にはそう離れておらず、まとまっている感じがしました。

初めて出合ったはずなのに懐かしさをおぼえたのは屏風のような形の山の連なりです。高いところには雑木がハッキリと見え、下の方には残雪も見えました。この風景は私が青少年時代を過ごした吉川区の螢場の山とそっくりでした。映画、「風の波紋」には特別な親近感を持ったのですが、その一番の要因はここにありました。残雪が残っている山のふもとまで行くと、そこにはカタクリやニンソウなどがきれいな花を咲かせていました。食べ頃のトリアシ、コゴミもありましたよ。

中立山の集落では音にも惹きつけられました。車を止めたとき、最初に聞こえてきたのは水の音です。田んぼ脇の幅四〇センチほどの用水路を流れる水は豊富で、勢いがあります。次から次へと尽きることなく流れてくる水の音は大きく、迫力がありました。音は春の音です。聞いているだけで元気が出ます。集落の下の方で流れる洩海川の流れる音も聞こえてきました。

映画で印象に残ったカエルの鳴き声、これは田んぼから聞こえてきました。何種類かのカエルが鳴いているのでしよう、とてもにぎやかで、いい感じですよ。カエルたちの鳴き声を録音していたら、防災無線から音楽が流れてきました。集落の中にも山にも響きました。「夕焼け小焼けで日が暮れて……」童謡の「夕焼け小焼け」ですが、これがまた私の気持ちとぴたり合いました。

散歩をやめ、中立山集落から三方峠に向けて車を走らせはじめたときです。左側の田んぼを見て、あっと思いました。映画でヤギと人間の動きが早送りされたあの風景が目に入ったからです。「ここかあ」ロケ地を訪れた喜びが再び大きくなりました。

安倍内閣の暴走許すなと西沢さんが街頭演説

憲法記念日を前にした先日、日本共産党新潟県委員会政策委員長（参院比例区予定候補）の西沢博さんとともに浦川原、大島、安塚にて街頭演説してきました。市議選直後ということもあって、通り過ぎる車からの応援が多く、演説中に「ありがとうございます」を何度も入れなければなりません。

私からは市議選でも訴えた市民の暮らしを守る課題は国政での安倍暴走をとめることで大きく進む、ぜひ参院選では「選挙区は野党共闘、比例は日本共産党へ」と訴えました。西沢さんは参院新潟選挙区候補をおりて比例に回ることが決まったの演説です。原発再稼働を許すな、若者の暮らしを守れ、などの訴えは若さいっぱい、元気がよくて頼もしく思いました。

演説をした場所ではいくつもドラマがありました。町内会長さん夫婦が仕事の手を休めて

けつけてきてくださったり、聴衆の一人の女性のところへ握手をしに行くのを忘れてたりなどです。握手を忘れていた女性は草取りをやめ、手袋を脱いで待っていてくださったのです。アナウンサーから指摘されて、大慌てで戻ると、ニコニコして語ってくださいました。「うちのばあちゃんね、手のひらにハシヅメと書いて、その字が消えないようにと大事にしながら投票所へ行ったんですよ」。みなさん、話をしたいと思っていてくださることがよくわかりました。それにしても1票は重い。

アベ政治を許すな！

市民連合・上越 大集会・パレード

日時：5月14日（土）

午後2時～

場所：かに池公園

森ゆうこ元参院議員、市民らが訴えます。誘い合っご参加ください。



上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016～0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月27日(水)	5月4日(水)
上越南消防署	0.040	0.050
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.053	0.067
頸北消防署	0.053	0.066
頸南消防署	0.060	0.057
東頸消防署	0.050	0.060
高士分遣所	0.053	0.050
名立分遣所	0.050	0.053